

公表 令和 8年 3月 27日

事業所名 中津川市発達支援センターどんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導室及びホールは、指導内容によってパーティションで仕切って使用しており、十分なスペースがあります。今後も、利用定員に合わせた指導室の使い方を検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		15人定員に対し、児童発達支援管理責任者1名、指導担当職員4名で対応しています。配置基準以上の職員数を確保できています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		指導室内に不要な掲示物を置かない、使わない玩具などを子どもの目につくところに置かないなどの配慮を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		エアコン、暖房器具完備の施設です。清潔で、心地よく過ごせる環境を維持していきます。活動に合わせて環境調整を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的に職員会を開催し、業務改善の検討を行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		自己評価表、保護者向け評価表の結果を職員間で共有し課題については改善点を共有していくことを継続していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		集計結果をホームページで公表しています。結果を踏まえて職員会等で、改善点について、今後検討していくことを継続します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は、定期的には実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		発達支援センター主催による「中津川市発達支援関係職員研修会」を3回実施しました。外部の研修会に参加、事業所内研修など、職員の資質向上、よりよい支援のため、定期的に研修を行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		児童発達支援管理責任者によるアセスメントを実施しています。今後も子どもの願いや保護者のニーズ、課題を捉えた計画策定に努めます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		臨床心理士による、新版K式発達検査を就園、就学前、必要に応じて実施しています。今後も新版K式発達検査を行い、保護者や園と子どもの姿を共有していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに沿った計画策定を行っています。子どもの発達段階、アセスメントから具体的にわかりやすい支援内容の設定に努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援が行われています。児童発達支援管理責任者による助言、指導の際確認を行い、より支援計画に沿った支援を行います。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		事業所内研修会を企画し、学び合う機会を作っています。職員会議等で、個々の課題を出し合い、支援内容を検討し、プログラムを構築します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子どもの好きな物から遊びを広げていく事ができるよう職員は工夫しながら支援をしています。支援内容の見直しもしながらプログラムの工夫をしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別指導とグループ指導両方、実施出来ています。今後も、子どもの様子を見ながら実施していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員間の意思疎通を心掛けています。活動内容の確認、必要に応じて協力体制の依頼などを行い、スムーズに支援ができるよう心掛けています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、できる限り反省の時間を取っています。その日に気付いたことなどを職員間で共有できるようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の指導記録の記入を徹底しています。時間が無い時はメモ書き等にして、翌日までに完了させます。懸案事項など、その都度、児童発達支援管理責任者が聞き取り、課題を見出し検証し、対応しています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童発達支援管理責任者が6か月ごとのモニタリングを実施しています。モニタリングにより、必要に応じて計画の見直しなどを行っています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しています。日頃から担当者との様子について話し、課題について周知できるように努めていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との連携がとれる体制は整っています。システム実務担当者会議に参加し、健康課や医療機関、教育関係職員等と連携を図り、発達の気になる子どもに対して、早期発見・早期支援に努めています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	現在対象児のお子さんは在籍していません。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	現在対象児のお子さんは在籍していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者の同意を得たうえで、支援内容等の情報共有を行っています。就園連絡会に参加し、各幼稚園、こども園、保育園への支援内容の引き継ぎを行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者の同意を得たうえで、支援内容等の情報共有を行っています。支援引継ぎシートを作成し、各学校への支援内容の引継ぎを行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	東濃地区等近隣の児童発達支援事業所と連携を図り、研修にも参加しています。今後も岐阜県障害児指導方法研究会、東濃地区障害児指導方法研究会に加入し研修会などに参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	3歳以上児は入園しているので、交流はありません。関係部署のご意見も伺いながら未就園児の交流を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	自立支援協議会への参加はしていません。各部会や、地域の会議へ参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	指導後に保護者と話す時間を取り、共通理解に努めています。保護者に寄り添い、保護者の立場に立った助言、指導に努めます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	令和7年度は10人の保護者対象に実施しました。保護者同士の交流になり、子どもへの褒め方や声のかけ方が変わったなどの感想をいただきました。引き続き保護者の負担にならないよう計画的に実施します。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	通所開始時に、書面を渡しながら説明を行っています。今後も、わかりやすく丁寧な説明に努めます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	ガイドラインに沿って作成された計画を示しながら、説明を行い、保護者から同意をいただいています。今後も、丁寧な説明に努めます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	保護者からの依頼に対し、担当及び児童発達支援管理責任者が相談・助言を行っています。今後も丁寧な対応に努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	児童発達支援管理責任者が同席し、定期的な役員会や茶話会の実施、学習会の開催など、保護者会の活動を支援しています。今後も同様に支援します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	保護者からの相談には、担当職員や児童発達支援管理責任者が対応を行っています。随時相談に応じる体制を整えています。月に1回相談日を設けて対応することを継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月、つうしんを発行し、行事予定などについて情報発信をしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	園や健康課などとの情報共有には、保護者の同意をいただき対応しています。SNSなどへの情報のアップについては、職員及び保護者に注意喚起を行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	絵やカードを使いながら、視覚支援によるアプローチをしています。今後も子どもや保護者に対してわかりやすい支援に努めます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	地域の方を招き、交流に努めます。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	地震、火災、土砂災害などの災害や緊急時に備え、全園児対象に定期的に訓練を行いました。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	通所開始時に、子どもの生育歴や健康状況などについて、保護者にアセスメントシートに記入していただき把握しています。お子さんの健康管理、状況把握に努めます。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食事指導は行っていませんが、アレルギーについては保護者から聞き取りをしています。現在、重いアレルギーを持つ子どもがいないため、医師の指示書までは取っていませんが、今後対象となる子どもが通所した場合は、必要となりますので、対応できるようにします。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット事例が発生したときは、記録を残し、事業所内で情報共有しています。職員会などで、事例に基づき、再発防止の対策を話し合っています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会を年3回実施しました。研修も行いました。職員会等で学び合う機会を作っています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関する指針を策定しています。全職員で周知しています。身体拘束に関する説明は丁寧に行っていますが、そのようなことがないよう職員全員で努めています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

